

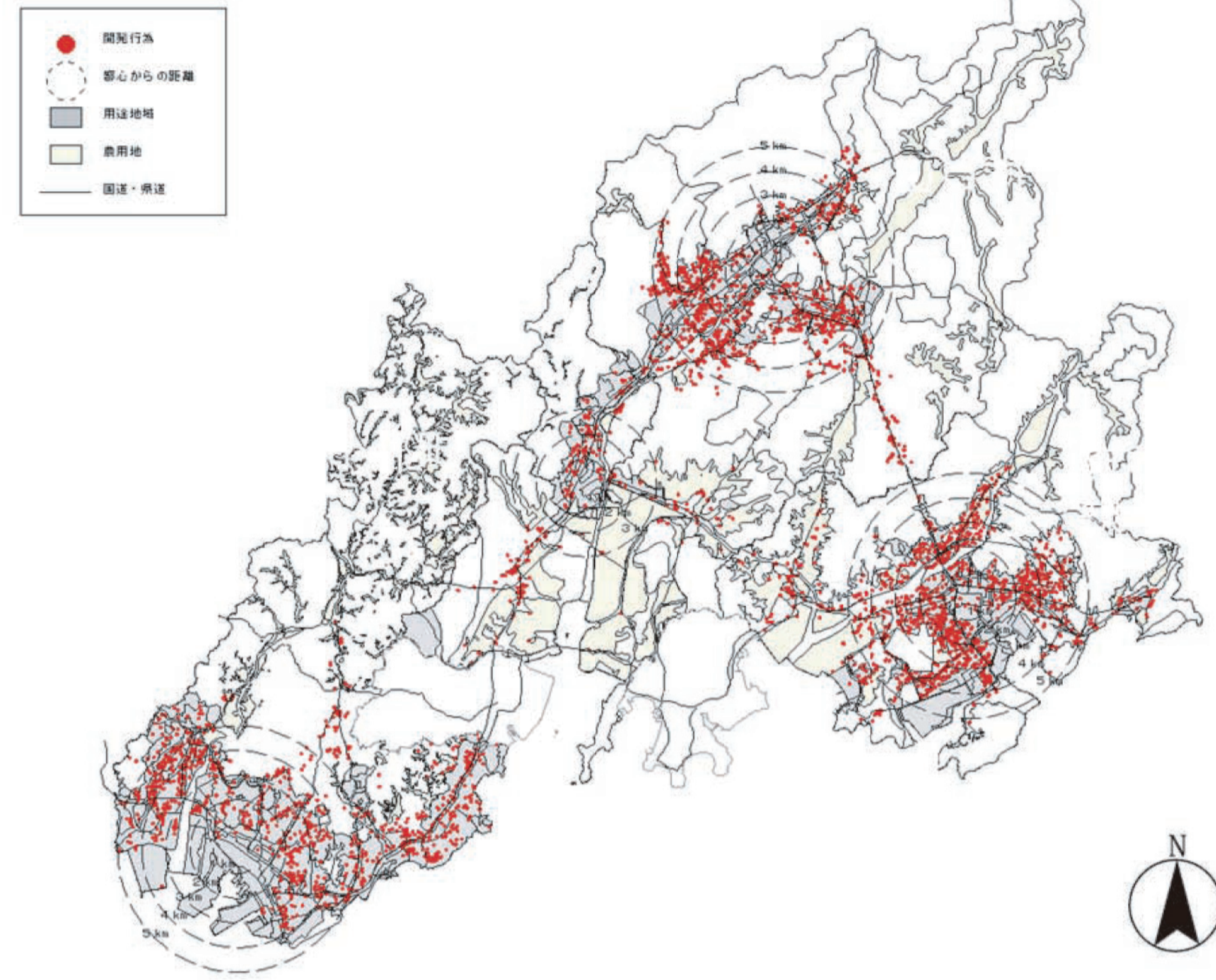
～うべっ子が元気になれば、うべのまちもエコになる～

宇部市の現状

○ 都市の無秩序な広がり

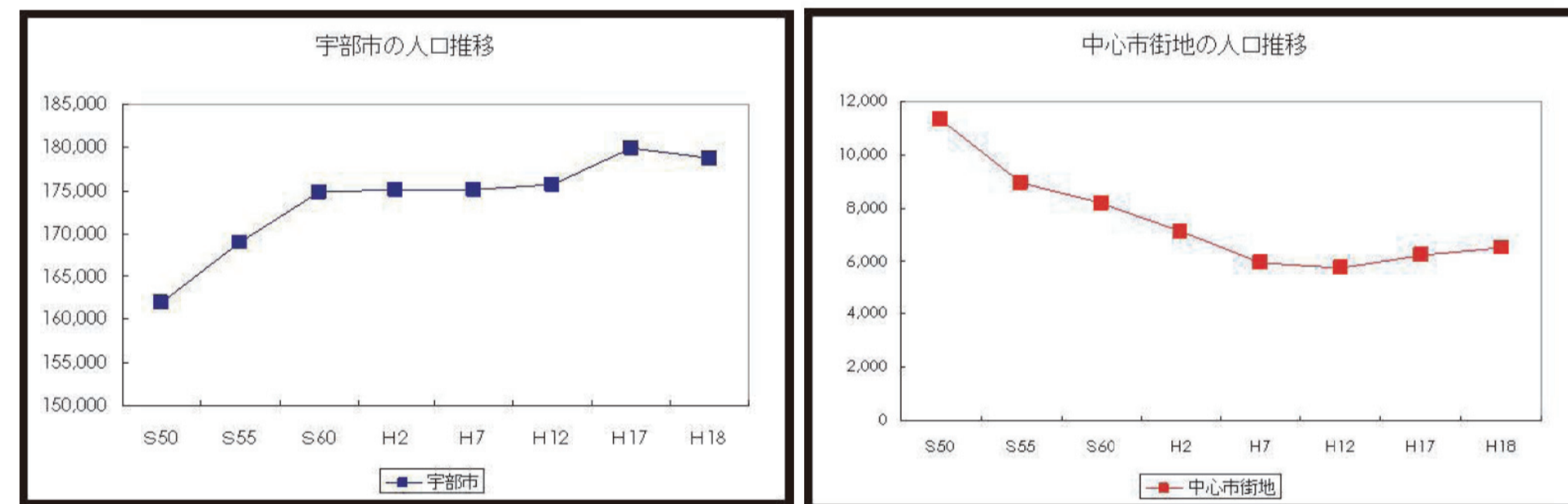
宇部市では、開発を許可する制度の規制が緩いため、近隣の山口市、防府市に比べて市街地の外側での開発が多く起こっています。

このため、まちは低密度で広域に広がっていています。



○ 人口減少

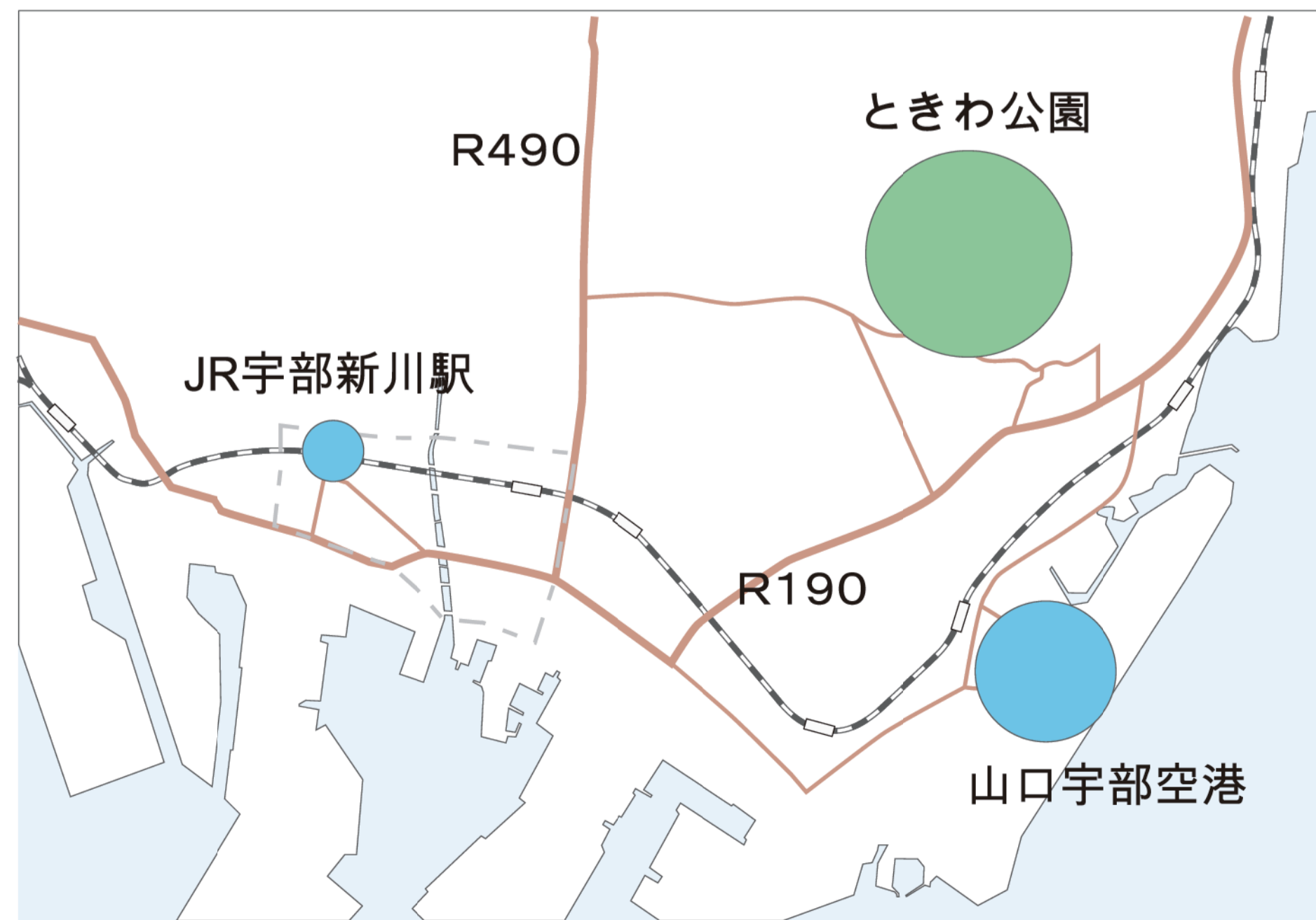
また、他の地方都市と同様に、人口は減少傾向であり、特に中心市街地では減少率が高く、空洞化が進んでいます。



○ 分散

中心市街地の外で多く開発が成され、人口も減少していることから、中心市街地の衰退が起こります。

市全体をみたときに、中心市街地と空港、常盤公園など市の拠点となるものが分散していることも中心部の衰退に影響します。



中心市街地の現状

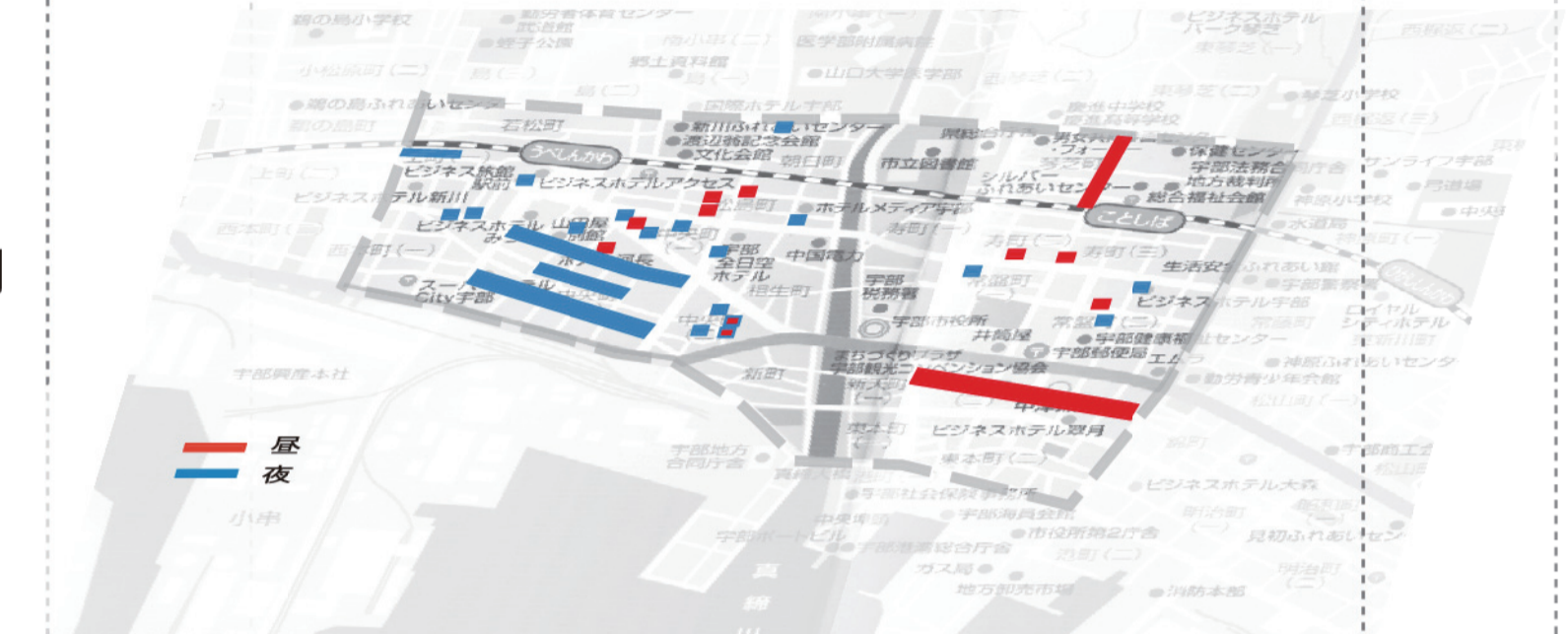
■ 活動領域

宇部新川駅周辺…学生・社会人等、大人の世代
中央バス停～三差路付近…他世代の人が利用
常盤通り沿線…主に地域の人が利用



■ 飲食店

駅前の飲み屋街は集客性があるが、中心市街地内に昼間の飲食店が少ない。



■ 商店街

宇部にはたくさんの商店街があるが、衰退したままの状態が多い。新天町商店街のように商店街として成り立っているところは地域性が高く、コミュニティが維持されている。



■ 歴史・文化的資源

新川橋など戦前から残る宇部の歴史を語るものや、戦後の文化資産である村野藤吾作品が文化資源として残るお。また、工場のように新しい価値を見出せる可能性もある。



■ 彫刻

シンボリックに配置された交差点の彫刻は魅力があるが、歩道にただ置くだけでは彫刻の魅力が活かされていない。



■ 緑

市街地のまち全体に緑が整備されており、特にシンボルロードは緑豊かであるが、R190号は街路に対して緑が少なかったり、真締川の緑道はうっそうとして良い印象とはいえない状況もある。

